

竹永みつえ

です

2018年1月 No.71

11月議会質問から

竹永みつえ

検索



☎086-803-1707
(市議会控室)



国保料は据え置くこと

竹永 4月からの県単位化で市民への説明は？

局長 市と県国保団体連絡会が共同でチラシ作製中。広報紙で周知など。

竹永 7割の被保険者が所得200万円以下であり、2割の方が滞納している実態で払える保険料にすべきでは。

局長 一般会計からの繰り入れは計画的に削減する方向で値上げはやむをえないが、低所得者への影響は少なくなるように考えたい。

竹永 国保財政は黒字で基金もあり、削減できるのでは。

局長 保険料改定の方で上げ幅は今後県の示す額で検討する。払えない方には丁寧に相談に乗りたい。

竹永 国保は社会保障という位置づけがぶれている。厳しく指摘したい。

介護保険について

竹永 岡山市の介護保険料は政令市で3番目に高い、県下では2番目に高い。美作市は県下1位の汚名返上のため里山基金を投入し、保険料の引き下げを考えている。岡山市も知恵を絞ってほしい。

局長 保険料は3年ごとに介護サービス料・支給量を基に算定する。今6,160円が6,400円程度になるという試算。

竹永 ある小規模特養では、H27年度の改定で4名、28年度の改定で5名、利用料負担の増えた方がいた。H30年の8月にも改定があり、3割負担になる方もいる。払えなくなったら施設から出ないといけなくなり、高齢者難民が増えることになる。よく考えて対応してほしい。

局長 国の方針改定なので、お困りのことがあれば相談を受ける体制を作りたい。



質問する竹永議員

地域共生社会はマンパワーが必要

竹永 今回紹介した生活困窮者の具体的事例に見られるように、困りごとを地域で掘り起し、支援につなぐためにはマンパワーが必要ではないか。

局長 マンパワーは大切で、相談支援包括推進員を配置することを考えている。

竹永 地域共生社会推進計画の主体は、岡山市か。市民や地域が主体だと、「我が事丸ごと」より「他人事丸投げ」になるのでは。

局長 あくまでも岡山市が推進する計画。市が主体だが、やはり地域・市民・事業者・関係者に役割を果たしてもらうための計画だ。

竹永 計画に書いてあることは良いが、やはり人とお金をつけてもらわなければ。

市長 この計画も重要だが、健全な財政が大前提。子孫の代まで大きなツケを残せない。その範囲で整理して予算を提案したい。

竹永 今日紹介した事例は、子、孫の代まで命がつけられないという深刻なケース。その点を踏まえて予算付けをお願いしたい。

市政報告会

- 1月20日⊕ 15時～ 御津ふれあいプラザ
- 21日⊕ 10時～ 岡輝公民館
- 25日⊕ 18時～ 百花プラザ
- 2月10日⊕ 10時～ 岡南公民館
- 13時半～ 富山公民館

生活・法律相談しています。

西大寺中野の党事務所

☎086-942-1780

毎週月曜日 生活相談 午後6時半～
第3月曜日 法律相談 午後6時～(弁護士も来ます)

コープ西大寺診療所

☎086-944-0088

第4水曜日 午後6時半～(要予約)

上道の党事務所

☎086-297-9515

第2水曜日 午後6時半～

★議会日程の関係で急に中止になる場合もありますので事前にお電話を！